

D

環境の持続可能性

基本施策とアクションプラン

阿寒摩周国立公園に位置する弟子屈町は、アトサヌプリ（硫黄山）や屈斜路湖、摩周湖を擁し、豊かな生態系が広がります。「持続可能な観光」では、観光がもたらす自然や地域への負の影響をなるべく軽減させ、保護と利用の好循環を促進することが重要とされています。弟子屈町でも自然資源を守りながら活用すること、ゴミや温室効果ガス、水質、生物多様性などの観点から地域に与える負の影響を減らすことを目指し、取り組みを進めていきます。

環境の持続可能性を推進することで、観光が地域の自然資源の保護と活用のバランスを生んでいる状態を目指します。

基本施策Ⅰ 自然資源の保護と活用

豊かな自然や生態系の「保全と活用の両立」を図るために定めた地域の指針「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を通じ、地域全体でエコツーリズムを推進します。また、活用により自然環境のバランスが崩れていないか、さまざまなモニタリングを通して確認しながら、生物多様性の保全を推進します。



- D-AP1 エコツーリズム推進全体構想を活用した、エコツーリズムの推進
- D-AP2 自然環境のモニタリングの実施
- D-AP3 生物多様性の保全の推進

基本施策Ⅱ 環境負荷の軽減

観光によって生じる環境への負荷を軽減するための取り組みを推進します。温室効果ガスの排出量が少ない移動の推進やトレイルの整備、再生可能エネルギーの導入、ゴミ排出量の削減、水質向上に向けた取り組みなど、町民、事業者、旅行者がそれぞれの立場で実践できる具体的なアクションを通じ、環境負荷の軽減を図ります。



- D-AP4 環境負荷が少ない移動の推進
- D-AP5 脱炭素に向けた取り組み促進
- D-AP6 廃棄物やプラスチックの使用を減らす取り組み促進
- D-AP7 水質向上のための取り組み促進

D-AP
1

D 環境の持続可能性 > 基本施策 I 自然資源の保護と活用

エコツーリズム推進全体構想を活用した、エコツーリズムの推進

対応 JSTS-D

エコツーリズムとは「地域ならではの特色」を活かした観光を、環境保全や地域振興につなげる持続可能な仕組みのこと。弟子屈町ではエコツーリズムを推進するための指針を定め、2016年には北海道で初めて、国の「エコツーリズム推進全体構想認定地域」となりました。

2019年からは全体構想の枠組みを利用し、独自の立ち入り制限をかけることにより、アトサヌプリ（硫黄山）でのガイド付きのツアーを実施しています。今後も弟子屈町の資源である豊かな自然を生かした「エコツアー」を推進することで、弟子屈の自然に関心を持つ旅行者を増やし、環境の保全につなげていきます。



実現に向けた具体的なアクション

- エコツーリズム推進全体構想の改訂
- トレイルルートの整備・延伸
- トレイルの利活用促進
- アトサヌプリトレッキングツアーの磨き上げ
- エコツーリズム推進に関わる広報活動の充実

今日からできる
町民アクション

■ カヌー、サイクリング、トレッキングなど町内で行われているエコツアーへ参加する

JSTS-D
D1

JSTS-D
D3

JSTS-D
D2

JSTS-D
D4

JSTS-D
C8

主に誰が事業を実施していくか

所管

- ・ 弟子屈町（観光商工課）
- ・ てしかがえこまち推進協議会
- ・ 摩周湖観光協会（DMO）

連携

- ・ 環境省
- ・ 北海道東トレイル運営事務局

協力

- ・ 釧路川源流域ネットワーク
- ・ てしかがトレイルクラブ

D-AP
2

D 環境の持続可能性 > 基本施策 I 自然資源の保護と活用

自然環境のモニタリングの実施

対応 JSTS-D

豊かな自然を適切に活用し、多様な生態系を次世代に継承していくため、弟子屈町では「エコツーリズム推進全体構想」で定められたモニタリングや、摩周湖での環境モニタリング、屈斜路湖での水質モニタリングなど、さまざまな環境モニタリングを実施しています。これらのモニタリングを今後も継続的に行い、その結果については定期的な検証や公表を実施していきます。



実現に向けた具体的なアクション

- 定められたモニタリング
- モニタリング結果の定期的な検証と公表

今日からできる
町民アクション

■ 摩周湖の水質調査のクラウドファンディングに協力する

JSTS-D
D1

JSTS-D
D4

JSTS-D
D9

主に誰が事業を実施していくか

所管

- ・ 弟子屈町（環境生活課、観光商工課）
- ・ てしかがえこまち推進協議会
- ・ 摩周湖観光協会（DMO）

連携

- ・ 環境省
- ・ 弟子屈町振興公社
- ・ 玉川大学

協力

- ・ 釧路川源流域ネットワーク
- ・ てしかがトレイルクラブ

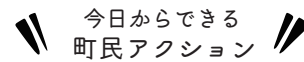
生物多様性は、複雑なバランスで成り立っている貴重な自然を守るためにはとても重要です。弟子屈町にも多くの野生生物が生息していますが、その中にはシマフクロウやタンチョウ、イトウなど環境省が絶滅危惧種と定める希少な動植物も含まれています。これらの野生生物を保護する上で懸念されるのが、在来種を脅かす外来種の繁殖や、環境の悪化などによる生息地の減少、事故を誘発する餌付け行為、乱獲などです。

多くの野生生物が弟子屈町で今後も生息していけるように、野生生物の生息に関する調査と外来種駆除、マナー啓発などを続けていきます。



実現に向けた具体的なアクション

- 野生生物のモニタリング調査
- 外来生物、外来植物の駆除
- 野生生物との関わりについてのマナー啓発



今日からできる
町民アクション

JSTS-D
D3JSTS-D
D4JSTS-D
D5

- 外来種の駆除活動へ参加する
- 敷地内のオオハンゴンソウなどの外来種を除草する
- 野生の動物に近寄らない、餌をやらない

主に誰が事業を実施していくか

所管

- ・ 弟子屈町
(環境生活課、農林課、観光商工課)
- ・ 環境省

連携

- ・ 観光事業者
- ・ 屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会
- ・ てしかがトレイルクラブ

協力

- ・ 町民

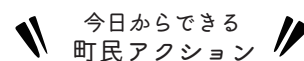
手つかずの自然が多く残る一方で、空港から遠く、公共交通手段の少ない弟子屈町では、旅行客の移動手段はレンタカーが主軸です。環境への負荷が少ない移動手段である自転車、公共交通機関のJRやバスをより多くの方に選択していただけるよう、利活用を促進していきます。また、徒歩での移動を推奨するため「摩周・屈斜路トレイル」のルート延伸を行います。

環境負荷の少ない電気自動車は、現在も摩周湖や硫黄山駐車場での料金が無料となっていますが、充電場所をさらに充実させることで利活用を促進し、旅行者の移動による温室効果ガス排出量の削減を目指します。



実現に向けた具体的なアクション

- 周遊バスの利活用促進
- トレイルの利活用促進 ※ D-AP1 にも掲載
- JR 釧網本線の利活用促進
- レンタサイクルの利活用促進
- 電気自動車の充電場所の充実



今日からできる
町民アクション

JSTS-D
D13

- 歩いて通学や通勤する
- 自転車に乗って買い物へ出かける
- エコドライブを心がける
- 移動に JR やバスを使ってみる

主に誰が事業を実施していくか

所管

- ・ 弟子屈町 (環境生活課、まちづくり政策課、観光商工課)

連携

- ・ 環境省
- ・ 自然公園財団
- ・ レンタサイクルやガイドを行う民間事業者

協力

- ・ てしかがトレイルクラブ

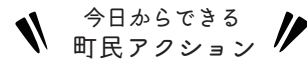
森林資源に恵まれた弟子屈町においては、町全体の温室効果ガス排出量は、森林の吸収量を下回っています。ゼロカーボンシティを宣言している弟子屈町において、地球規模の問題に向き合うため、町としての排出量を正確にモニタリングし、排出を抑制していくための取り組みを継続することが欠かせません。観光業においても、国立公園の「ゼロカーボン・パーク」化に合わせ、再生可能エネルギーへのシフトや省エネを進めていきます。また、弟子屈町内の森林により生み出されるカーボンクレジット*を事業者や旅行客が利用できる仕組みを構築します。

* カーボンオフセット/カーボンクレジット：用語解説 p.58 参照



実現に向けた具体的なアクション

- 温室効果ガス削減の取り組みを行っている観光事業者の調査および調査結果の公表
- 再生可能エネルギーや省エネ化を推進するための研修会の実施
- 宿泊施設の省エネ化を推進するための補助制度の拡充
- カーボンオフセット*の仕組みの啓発と活用



今日からできる
町民アクション

JSTS-D
D7JSTS-D
D12

- 自宅の照明を LED に交換する
- 車や家電を買い替える際は、エコカーや、省エネ家電を選択する
- 再生可能エネルギーを利用した電力会社へ契約を切り替える

主に誰が事業を実施していくか

所管

- ・ 弟子屈町
(環境生活課、農林課、観光商工課)
- ・ てしかがえこまち推進協議会

連携

- ・ 環境省
- ・ 観光事業者
- ・ 摩周湖観光協会 (DMO)

協力

- ・ 町民

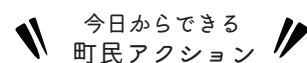
廃棄物やプラスチックの使用を減らす取り組み促進

町全体でゴミの排出量を減らし、環境に負荷をかけない取り組みを進めていきます。特に使い捨てのプラスチック製品の使用を減らすことで、地球規模での資源保全に貢献し、環境に配慮した観光地としての姿勢を明確にします。脱プラスチックと並行し、フードロス削減も呼びかけます。また、現在は道の駅摩周温泉のみで実施している「旅行者のゴミ回収」や、旅行者が水を汲める「給水ポイント」についても協力事業者を増やし、地域一体となった廃棄物削減に取り組めます。



実現に向けた具体的なアクション

- 旅行者のゴミ回収への協力事業者の拡充
- 使い捨てプラスチックの使用削減の推奨
- フードロス削減への呼びかけ
- 給水スポットの充実



今日からできる
町民アクション

JSTS-D
D3JSTS-D
D9JSTS-D
D11

- 使い捨てプラスチック製品をなるべく買わない
- 日用品にリサイクル製品や長く使える製品を活用する
- 自宅の周りのゴミを拾う
- お出かけにマイボトルを持参

主に誰が事業を実施していくか

所管

- ・ 弟子屈町 (観光商工課、環境生活課)
- ・ てしかがえこまち推進協議会
- ・ 摩周湖観光協会 (DMO)

連携

- ・ 環境省
- ・ 観光事業者

協力

- ・ 町民

屈斜路湖や摩周湖、釧路川など豊かな水資源は弟子屈町の宝です。湧き出た水は、周辺市町村を潤し、海の生態系にも影響を及ぼします。美しい水を後世まで使い続けていくことは、町民のためであることはもちろん、上流域に位置する自治体としての責務でもあります。そのためには、水質の変化に気を配り、水を汚さないための取り組みが必要不可欠です。

現在行われている屈斜路湖での水質モニタリングを継続して実施していくことに加え、排水のシステムを整える「仕組みの変換」と、排水の中身を変えていく「意識・行動の変換」の両面から、水質向上の取り組みを推進します。



実現に向けた具体的なアクション

- 水質のモニタリング
- 浄化槽設置に対する補助
- 生分解性石けんの使用促進

今日からできる 町民アクション

- 下水道への接続や浄化槽の設置
- 自然に還る石けんや洗剤を使う
- 食器洗いの前に油分をふき取る

JSTS-D
D9JSTS-D
D10

主に誰が事業を実施していくか

所管

- ・ 弟子屈町
(環境生活課、観光商工課、水道課)

連携

- ・ 観光事業者
- ・ 川湯温泉旅館組合
- ・ 環境省



和琴半島先端より望む屈斜路湖とオヤコソ地獄